

(一社)北海道商工会議所連合会 中小企業景況調査報告書

第176回 調査概要

- ・調査対象期間 : 2024年10~12月期 実績
2025年1~3月期 見通し
- ・回答数 : 364社
- ・発行日 : 2025年2月5日

今期業況・来期見通し

採算DIは改善も、原材料価格や人件費の上昇を受け、価格転嫁に苦慮。資金繰りDIは悪化傾向。

■主なコメント

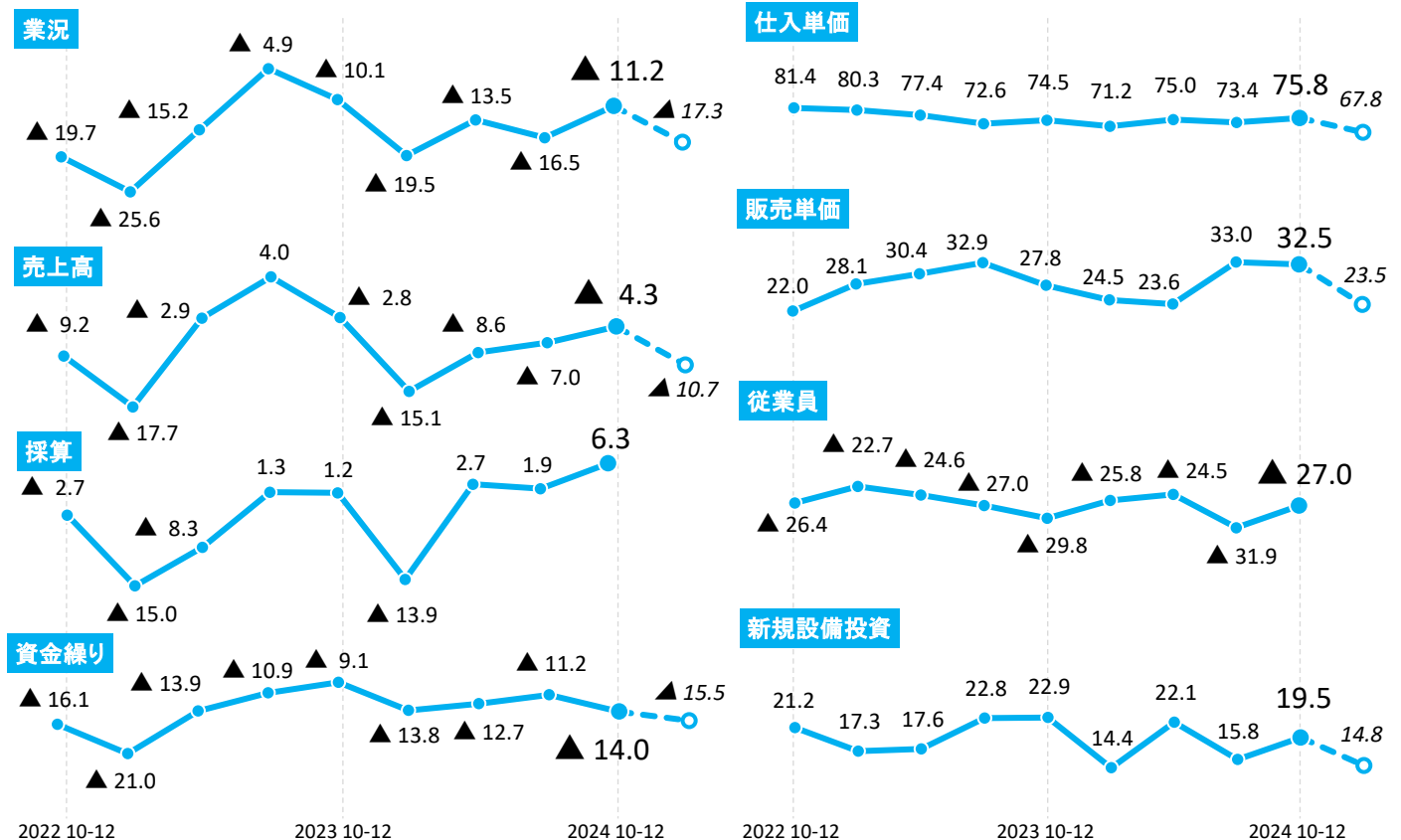
- ・資機材の価格上昇や高止まりが続く中、公共工事・民間工事のいずれにおいても、価格転嫁が不十分。また転嫁されるまでタイムラグがある。(建設業)
- ・売上の減少と仕入単価の上昇が続いていることに加え、資金繰りも何とかやり繰りしながらの営業となっている。先行きも不透明な部分が多く、厳しい状況が続くと思われる。(クリーニング協会)
- ・工期の長期化が資金繰りに影響。本年11月より支払手形を廃止し、すべて現金支払いへと変更したこともあり、一時的にはあるが資金繰りに影響が出た。(総合工事業)

■全産業D・I

	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3(見通)
業況(前年同期比)	▲ 19.7	▲ 25.6	▲ 15.2	▲ 4.9	▲ 10.1	▲ 19.5	▲ 13.5	▲ 16.5	▲ 11.2	▲ 17.3
売上高(前年同期比)	▲ 9.2	▲ 17.7	▲ 2.9	4.0	▲ 2.8	▲ 15.1	▲ 8.6	▲ 7.0	▲ 4.3	▲ 10.7
採算(今期の経常損益)	▲ 2.7	▲ 15.0	▲ 8.3	1.3	1.2	▲ 13.9	2.7	1.9	6.3	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 16.1	▲ 21.0	▲ 13.9	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 13.8	▲ 12.7	▲ 11.2	▲ 14.0	▲ 15.5
仕入単価(前年同期比)	81.4	80.3	77.4	72.6	74.5	71.2	75.0	73.4	75.8	67.8
販売単価(前年同期比)	22.0	28.1	30.4	32.9	27.8	24.5	23.6	33.0	32.5	23.5
従業員(今期の過不足)	▲ 26.4	▲ 22.7	▲ 24.6	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 25.8	▲ 24.5	▲ 31.9	▲ 27.0	-
新規設備投資した割合	21.2	17.3	17.6	22.8	22.9	14.4	22.1	15.8	19.5	14.8

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。

○ 来期見通



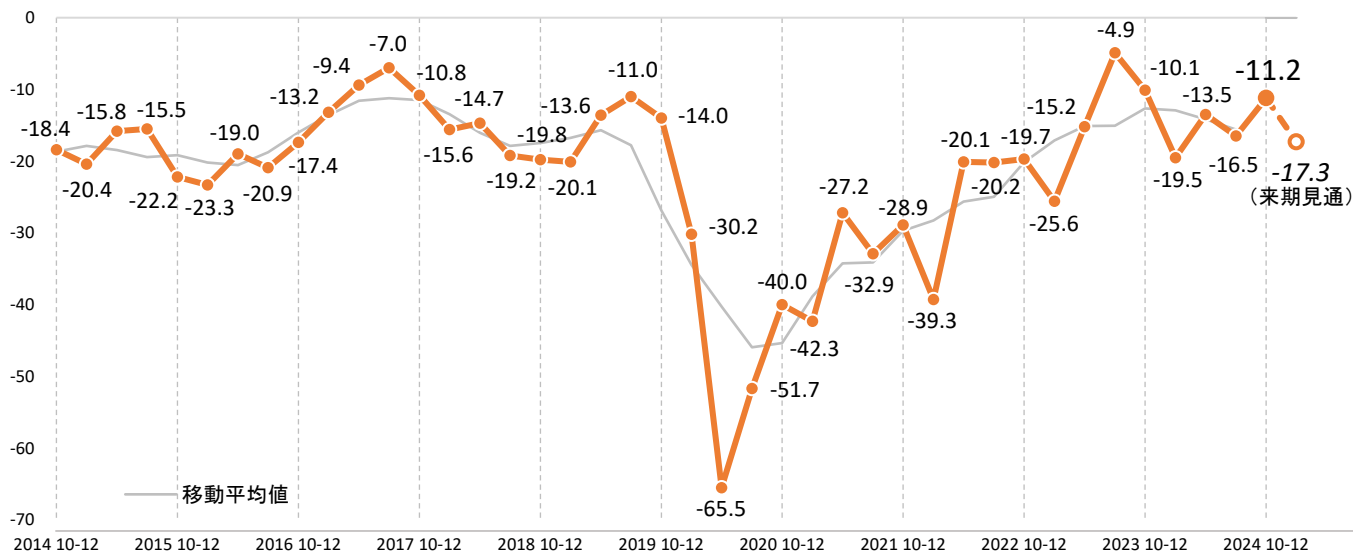
I. 業況

1. 今期

前年同期比

(2023年10~12月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I 《好転—悪化》



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 11.2	13.3%	62.2%	24.5%	▲ 16.5
製造	▲ 17.5	12.3%	57.9%	29.8%	▲ 19.6
建設	▲ 16.7	11.1%	61.1%	27.8%	▲ 15.1
卸売	▲ 10.5	12.3%	64.9%	22.8%	▲ 16.4
小売	▲ 5.9	16.2%	61.7%	22.1%	▲ 21.2
サービス	▲ 5.3	14.7%	65.3%	20.0%	▲ 10.5

■好転 □不変 ■悪化

前期比

(2024年7~9月期の水準と比較した今期の業況)

業種別D・I値

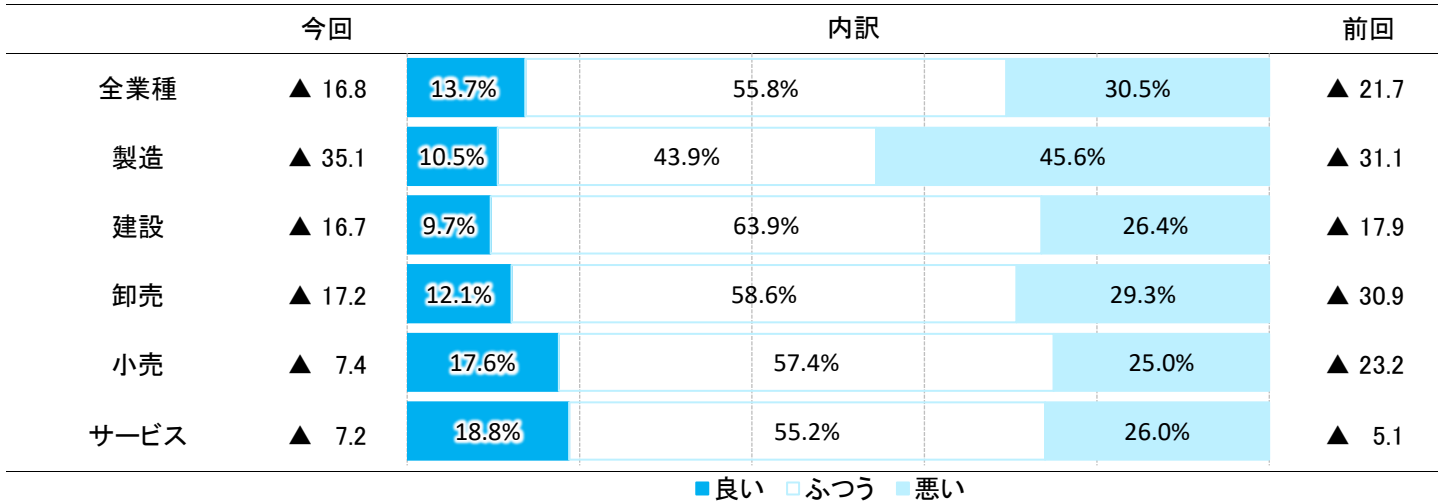
業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 8.1	13.9%	64.1%	22.0%	▲ 10.4
製造	▲ 10.9	16.4%	56.3%	27.3%	▲ 18.1
建設	▲ 4.2	12.7%	70.4%	16.9%	▲ 8.2
卸売	▲ 14.1	10.5%	64.9%	24.6%	▲ 12.7
小売	▲ 3.0	17.9%	61.2%	20.9%	▲ 10.8
サービス	▲ 8.6	11.8%	67.8%	20.4%	▲ 2.1

■好転 □不変 ■悪化

今期の水準

(2024年10~12月期の水準)

業種別D・I値

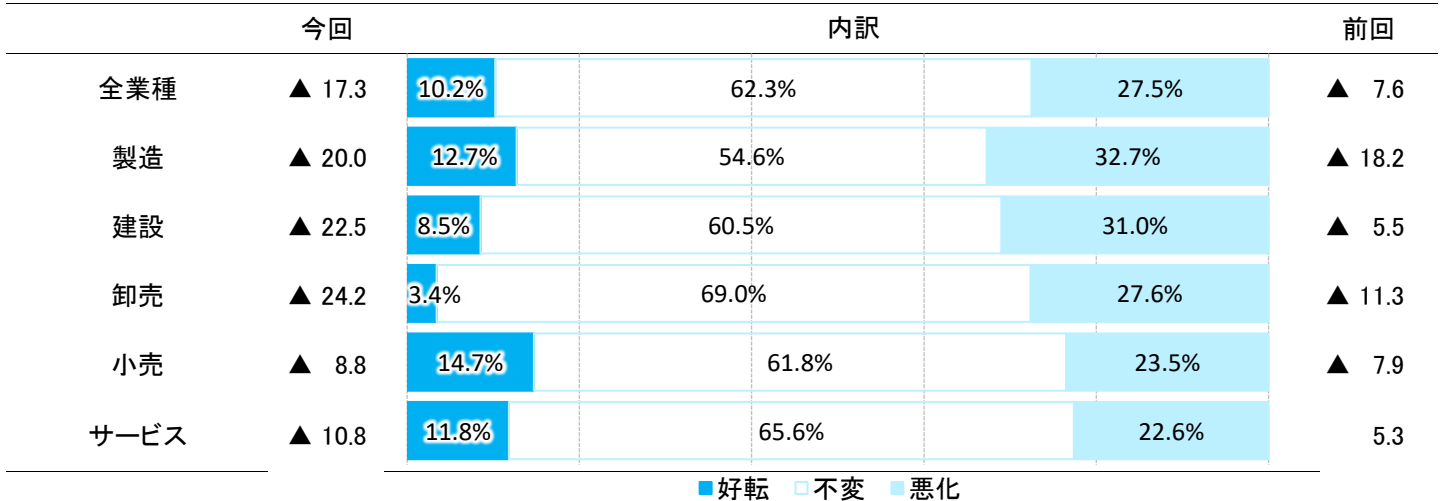


2. 来期

前年同期比

(2024年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

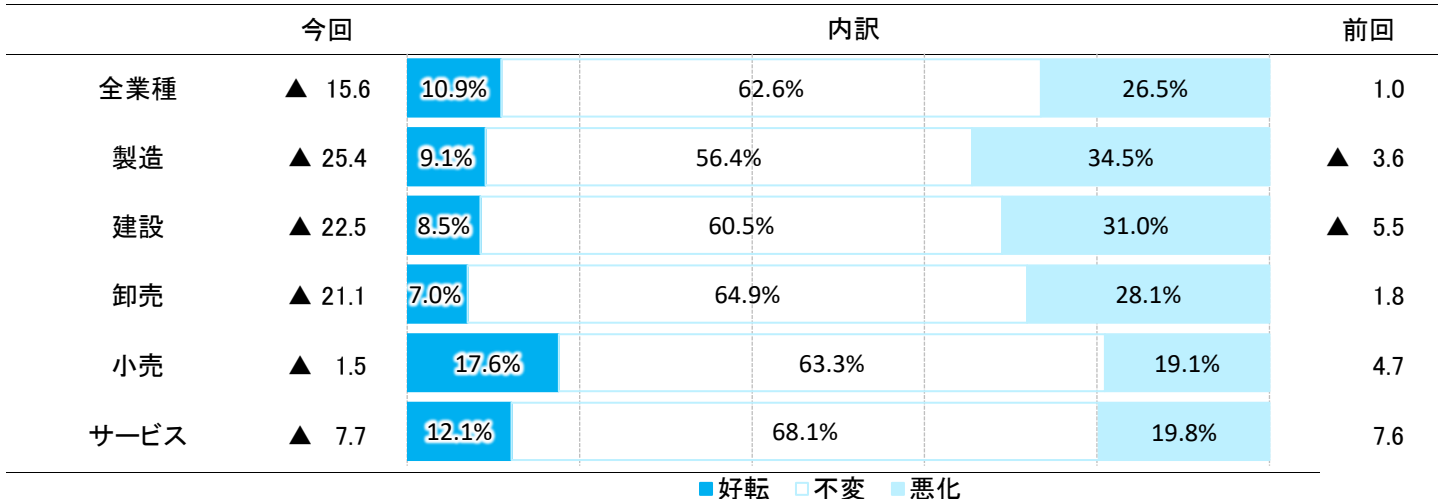
業種別D・I値



今期比

(2024年10~12月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値



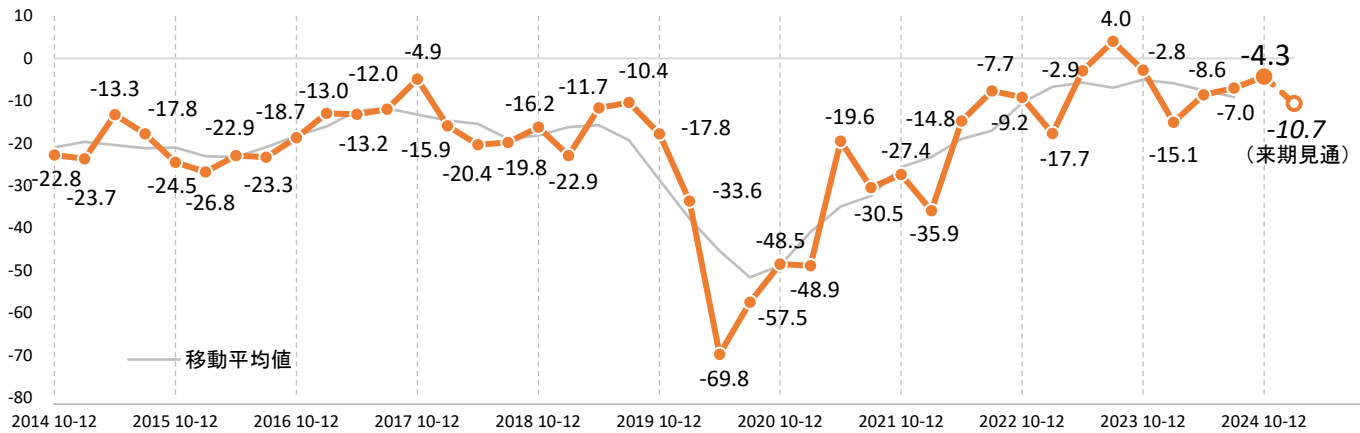
Ⅱ. 売上高

1. 今期

前年同期比

(2023年10～12月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加－減少≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 4.3	26.2%	43.3%	30.5%	▲ 7.0
製造	▲ 19.3	19.3%	42.1%	38.6%	▲ 17.2
建設	▲ 16.6	18.1%	47.2%	34.7%	▲ 13.7
卸売	▲ 5.1	25.9%	43.1%	31.0%	▲ 5.4
小売	5.9	35.3%	35.3%	29.4%	▲ 5.8
サービス	13.5	32.3%	48.9%	18.8%	7.2

■増加 □不変 ■減少

前期比

(2024年7～9月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 3.1	27.2%	42.5%	30.3%	0.6
製造	7.1	37.5%	32.1%	30.4%	▲ 14.0
建設	▲ 1.4	22.2%	54.2%	23.6%	6.9
卸売	▲ 10.4	24.1%	41.4%	34.5%	▲ 3.7
小売	▲ 7.4	28.4%	35.8%	35.8%	5.8
サービス	▲ 3.1	24.0%	48.9%	27.1%	8.3

■増加 □不変 ■減少

2. 来期

前年同期比

(2024年1～3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 10.7	19.4%	50.5%	30.1%	5.9
製造	▲ 14.3	16.1%	53.5%	30.4%	▲ 7.2
建設	▲ 38.0	8.5%	45.0%	46.5%	1.4
卸売	▲ 8.6	19.0%	53.4%	27.6%	12.9
小売	11.8	32.4%	47.0%	20.6%	8.8
サービス	▲ 4.2	21.1%	53.6%	25.3%	13.7

■増加 □不変 ■減少

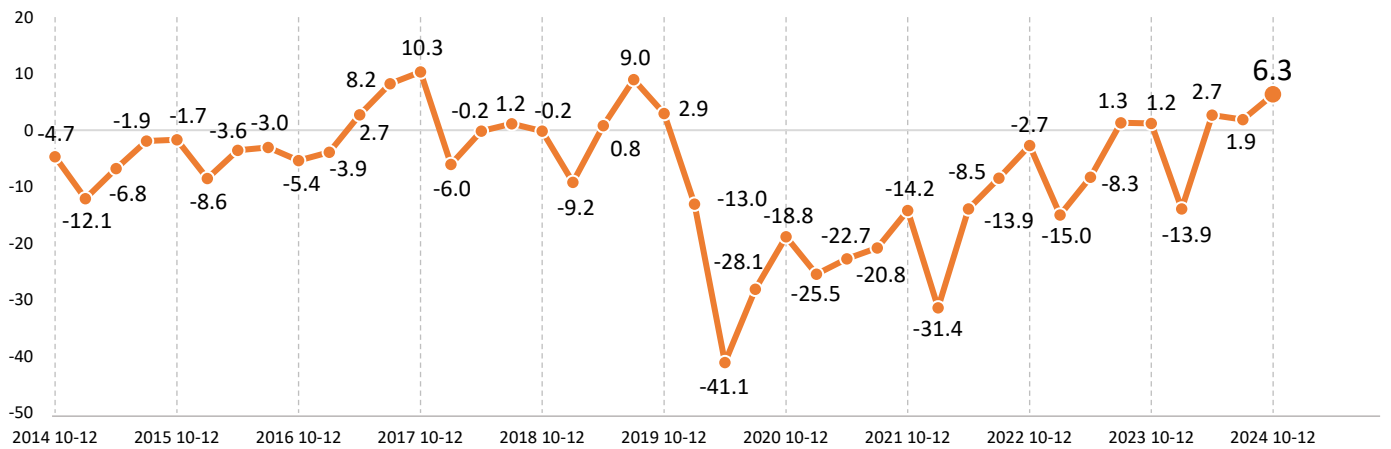
Ⅲ. 採算(経常利益)

1. 今期

今期の水準

(2024年10~12月期の水準)

全業種平均D・I ≪黒字-赤字≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		黒字	収支トントン	赤字	
全業種	6.3	25.6%	55.1%	19.3%	1.9
製造	▲ 3.5	19.3%	57.9%	22.8%	▲ 5.2
建設	12.7	31.0%	50.7%	18.3%	13.8
卸売	12.1	29.3%	53.5%	17.2%	▲ 3.6
小売	2.9	23.5%	55.9%	20.6%	▲ 5.9
サービス	7.3	25.0%	57.3%	17.7%	10.3

■黒字 □収支トントン ■赤字

前年同期比

(2023年10~12月期の水準と比較した今期の採算)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 18.2	11.3%	59.2%	29.5%	▲ 22.1
製造	▲ 28.1	7.0%	57.9%	35.1%	▲ 36.2
建設	▲ 21.1	9.9%	59.1%	31.0%	▲ 16.9
卸売	▲ 15.6	10.3%	63.8%	25.9%	▲ 20.0
小売	▲ 14.7	14.7%	55.9%	29.4%	▲ 17.9
サービス	▲ 11.6	14.7%	59.0%	26.3%	▲ 19.6

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

前年同期比

(2024年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 20.1	11.2%	57.5%	31.3%	▲ 11.1
製造	▲ 27.2	7.3%	58.2%	34.5%	▲ 26.3
建設	▲ 30.0	5.7%	58.6%	35.7%	▲ 5.6
卸売	▲ 17.2	12.1%	58.6%	29.3%	▲ 11.0
小売	▲ 12.0	17.9%	52.2%	29.9%	▲ 4.5
サービス	▲ 14.2	13.0%	59.8%	27.2%	▲ 8.5

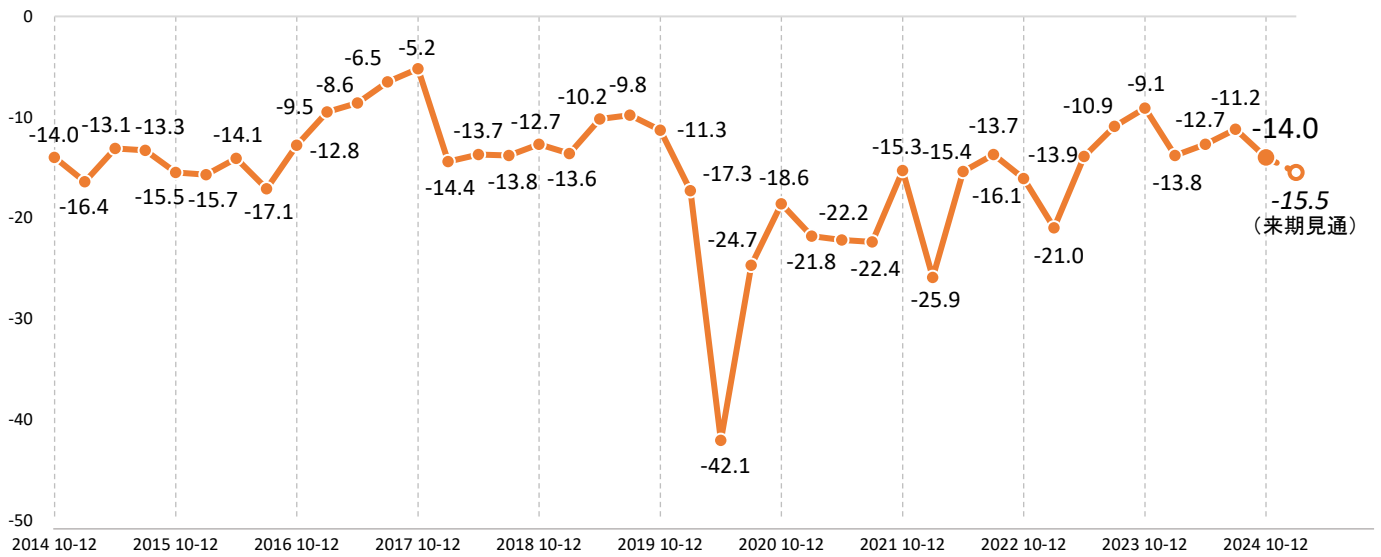
■好転 □不変 ■悪化

IV. 資金繰り

1. 今期

前年同期比

(2023年10~12月期の水準と比較した今期の資金繰り)



業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変化率	内容	割合	
全業種	▲ 14.0	5.8%	74.4%	19.8%	▲ 11.2
製造	▲ 12.2	5.3%	77.2%	17.5%	▲ 17.2
建設	▲ 15.5	2.8%	78.9%	18.3%	▲ 10.9
卸売	▲ 21.1	3.5%	71.9%	24.6%	▲ 7.5
小売	▲ 14.7	7.4%	70.5%	22.1%	▲ 8.8
サービス	▲ 6.6	9.9%	73.6%	16.5%	▲ 11.5

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

前年同期比

(2024年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

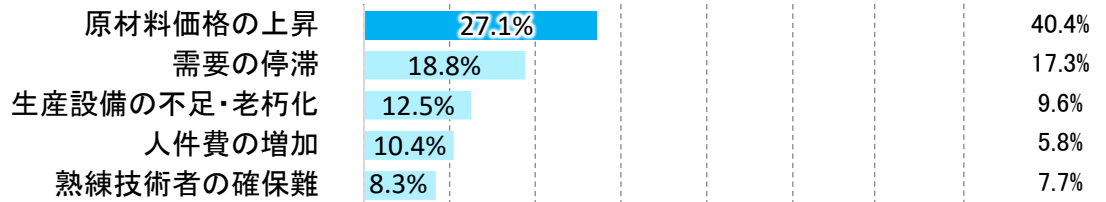
業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変化率	内容	割合	
全業種	▲ 15.5	5.6%	73.3%	21.1%	▲ 4.2
製造	▲ 14.2	5.4%	75.0%	19.6%	▲ 9.0
建設	▲ 19.7	4.2%	71.9%	23.9%	▲ 2.8
卸売	▲ 22.8	1.8%	73.6%	24.6%	0.0
小売	▲ 8.8	8.8%	73.6%	17.6%	▲ 3.0
サービス	▲ 12.0	7.6%	72.8%	19.6%	▲ 6.4

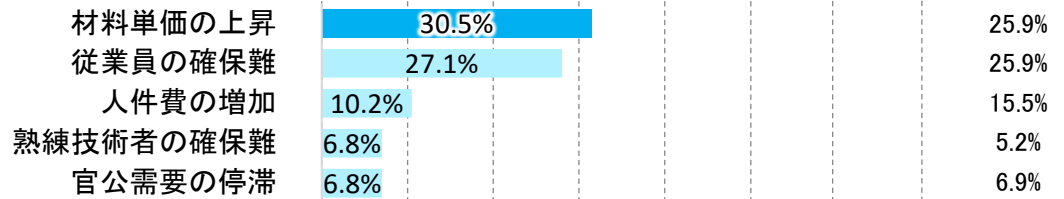
■好転 □不変 ■悪化

V. 経営上の問題点(上位5項目)

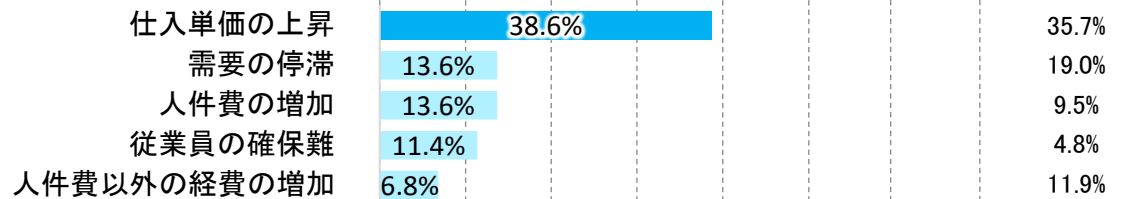
製造業



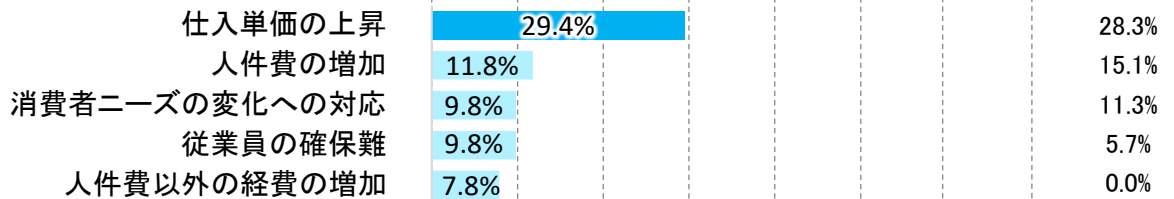
建設業



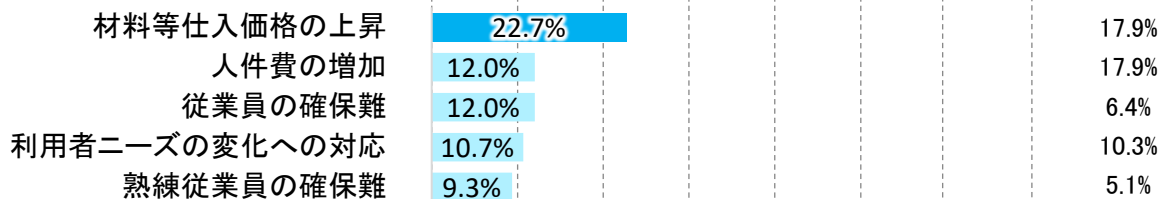
卸売業



小売業



サービス業



10 20 30 40 50 60 70

VI. 従業員の動向

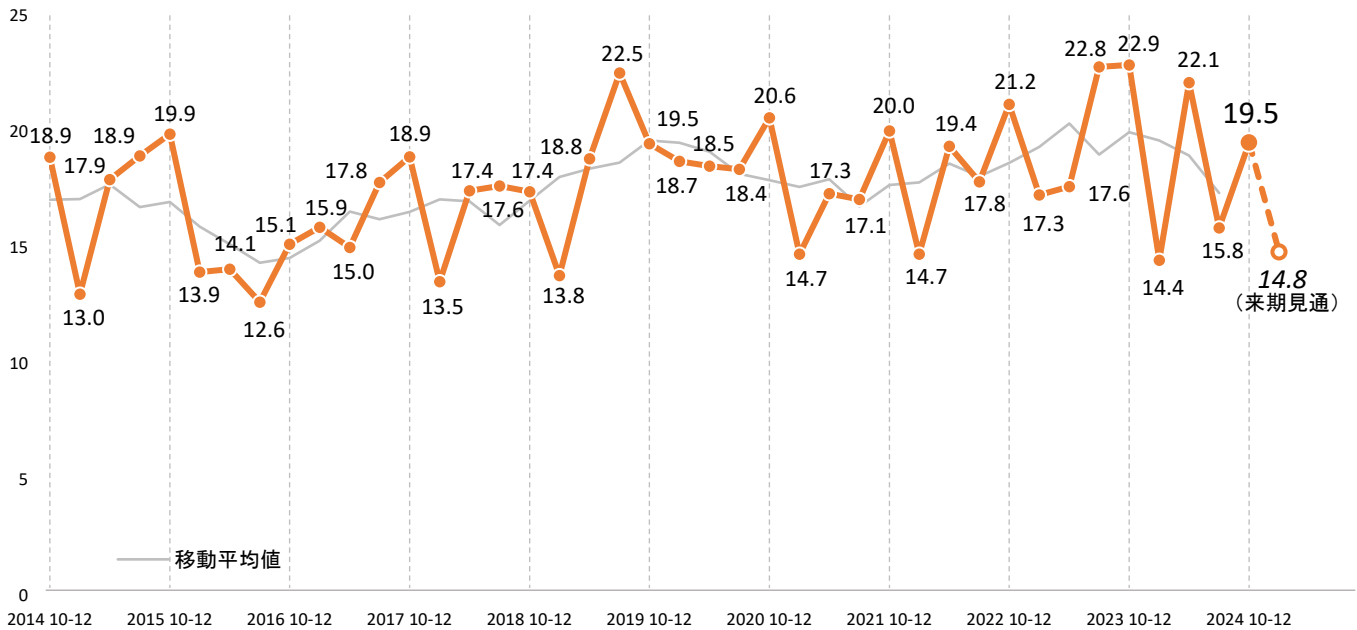
業種別D・I値

業種	今回	内訳		前回
		過剰	不足	
全業種	▲ 27.0	2.3%	29.3%	▲ 31.9
製造	▲ 14.3	8.9%	23.2%	▲ 31.5
建設	▲ 44.3	1.4%	45.7%	▲ 46.4
卸売	▲ 24.6	0.0%	24.6%	▲ 30.4
小売	▲ 21.9	0.0%	21.9%	▲ 24.2
サービス	▲ 29.8	1.2%	31.0%	▲ 27.0

■ 過剰 □ 適正 ■ 不足

VII. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



1. 今期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	19.5	21.1	16.7	25.9	16.2	17.7
土地	3.0	8.3	0.0	6.7	0.0	0.0
工場建物、建物、店舗	19.4	16.7	16.7	13.3	9.1	41.2
生産・販売・サービス設備、建設機械	24.2	58.3	16.7	13.3	9.1	23.5
車両運搬具	35.9	25.0	41.7	53.3	18.2	41.2
倉庫・駐車場等の付帯施設	18.5	25.0	0.0	13.3	36.4	17.6
OA機器	34.7	25.0	50.0	26.7	36.4	35.3
厚生施設	1.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.5	0.0	16.7	6.7	9.1	0.0
実施していない	80.5	78.9	83.3	74.1	83.8	82.3

2. 来期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	14.8	15.8	19.4	10.3	11.8	16.7
土地	3.9	0.0	7.1	0.0	12.5	0.0
工場建物、建物、店舗	11.0	0.0	7.1	16.7	25.0	6.3
生産・販売・サービス設備、建設機械	30.1	44.4	14.3	16.7	37.5	37.5
車両運搬具	37.3	44.4	71.4	33.3	12.5	25.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	21.0	33.3	7.1	33.3	12.5	18.8
OA機器	21.6	0.0	28.6	16.7	25.0	37.5
厚生施設	1.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
その他	4.6	0.0	0.0	16.7	0.0	6.3
実施しない	85.2	84.2	80.6	89.7	88.2	83.3

製造業

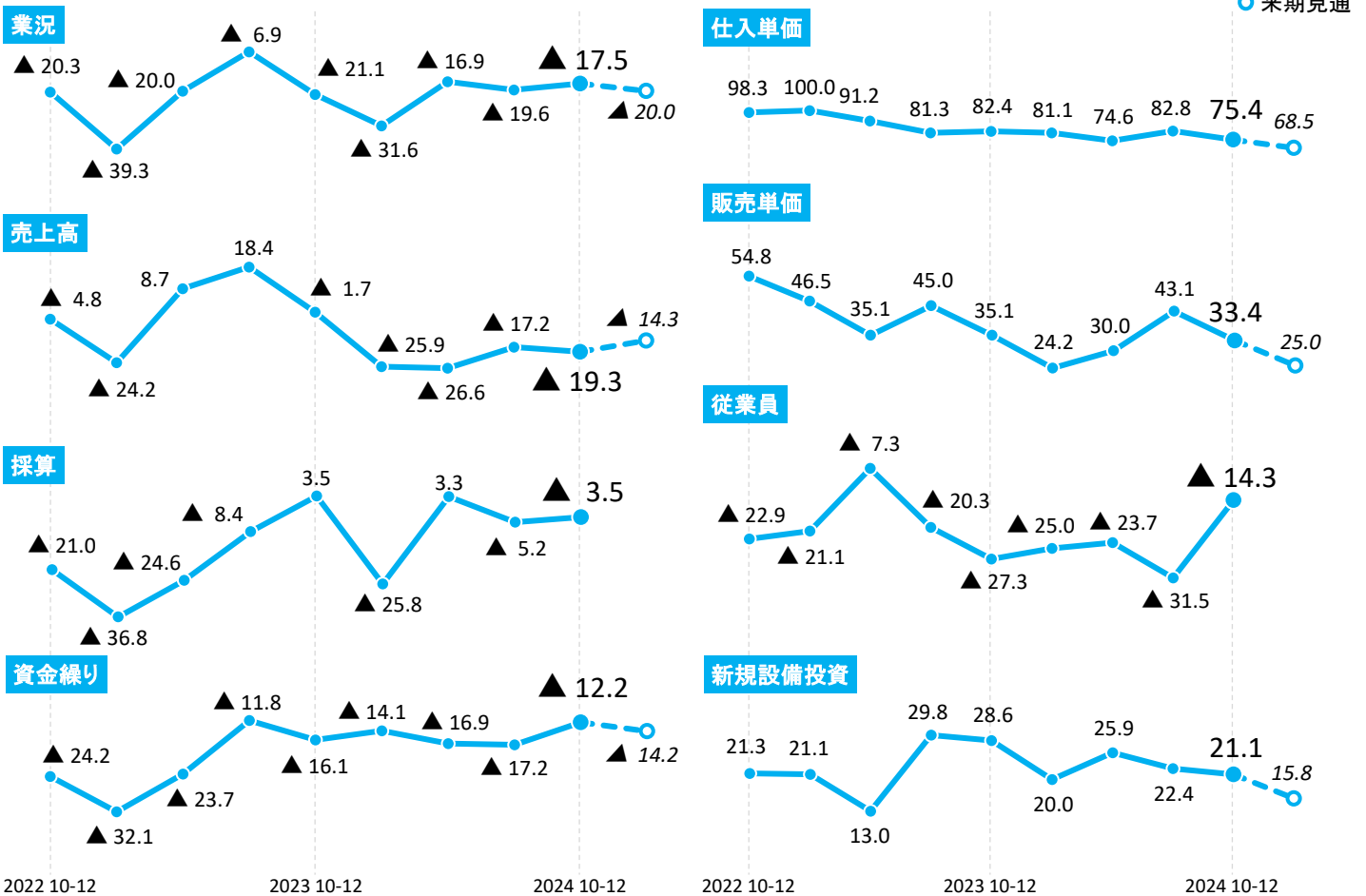
■主なコメント

- ・全体的に需要は伸びておらず、売上は前年同期比で減少。製品の値上げを実施した結果、販売数量は減少した。円安の影響で、海外産の原料は高値圏の推移。不足人員の補充はできている。
(プラスチック製品製造業)
- ・売上高は減少しており、次期3ヵ月についても減少が予測される。現在の経営上の問題点は原材料等の高騰。物価高による買い控えや人口減少の影響があり、先行きは不透明。
(菓子組合)
- ・売上は安定しているが、コロナ期より減少しており、回復の見込みが立たない。先の見えない状況が続いている。
(家具・木材製造業)

■D・I

	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 20.3	▲ 39.3	▲ 20.0	▲ 6.9	▲ 21.1	▲ 31.6	▲ 16.9	▲ 19.6	▲ 17.5	▲ 20.0
売上高 (前年同期比)	▲ 4.8	▲ 24.2	8.7	18.4	▲ 1.7	▲ 25.9	▲ 26.6	▲ 17.2	▲ 19.3	▲ 14.3
採算 (今期の経常損益)	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 24.6	▲ 8.4	3.5	▲ 25.8	3.3	▲ 5.2	▲ 3.5	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 24.2	▲ 32.1	▲ 23.7	▲ 11.8	▲ 16.1	▲ 14.1	▲ 16.9	▲ 17.2	▲ 12.2	▲ 14.2
仕入単価 (前年同期比)	98.3	100.0	91.2	81.3	82.4	81.1	74.6	82.8	75.4	68.5
販売単価 (前年同期比)	54.8	46.5	35.1	45.0	35.1	24.2	30.0	43.1	33.4	25.0
従業員 (今期の過不足)	▲ 22.9	▲ 21.1	▲ 7.3	▲ 20.3	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 31.5	▲ 14.3	-
新規設備投資した割合	21.3	21.1	13.0	29.8	28.6	20.0	25.9	22.4	21.1	15.8

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



建設業

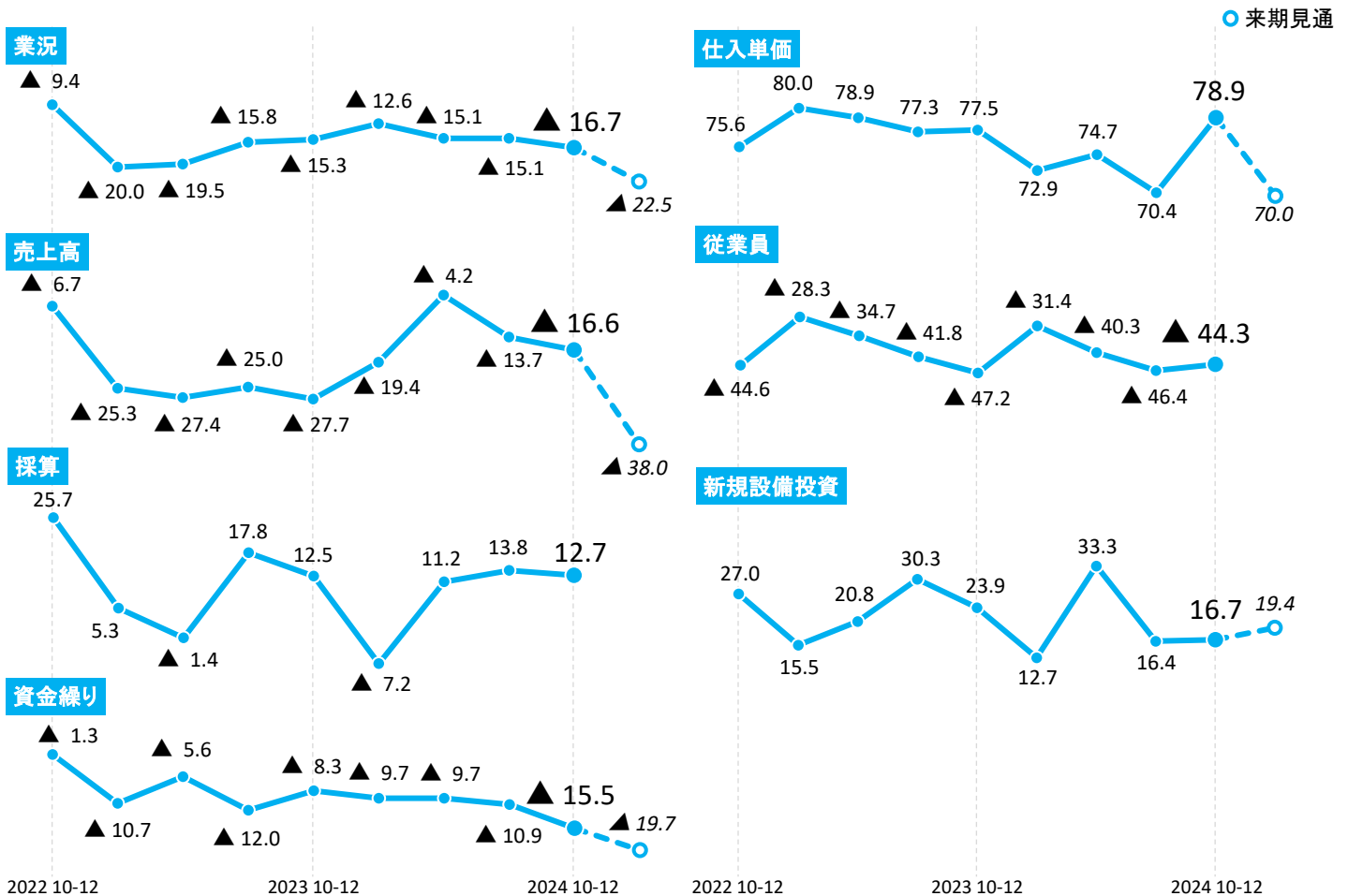
■主なコメント

- ・現場作業員を求人しているが見つからない。また、原材料や燃料の価格高騰により利益率が落ち、賃上げが難しい。価格転嫁もメーカー品の値上げ分はできているが、労務費や交通費の分はできていない。(管工事業)
- ・下請法の改正により、支払サイト60日超の約束手形は行政指導の対象となったが、周知が十分に行われていない。取引先が120日等の支払サイトで発行し続ける中、自社だけで対応する事もできず、苦慮している。(板金業)
- ・他の業種と同様、人材不足が課題。特に若い働き手がおらず、高齢化が進んでいる。働き方改革の一環で公共工事を中心に土日祝日の工事が減少。職場環境は改善した。今後は工事単価の引き上げを要請していきたい。(管工事業)

■D・I

	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 9.4	▲ 20.0	▲ 19.5	▲ 15.8	▲ 15.3	▲ 12.6	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 16.7	▲ 22.5
売上高 (前年同期比)	▲ 6.7	▲ 25.3	▲ 27.4	▲ 25.0	▲ 27.7	▲ 19.4	▲ 4.2	▲ 13.7	▲ 16.6	▲ 38.0
採算 (今期の経常損益)	25.7	5.3	▲ 1.4	17.8	12.5	▲ 7.2	11.2	13.8	12.7	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 1.3	▲ 10.7	▲ 5.6	▲ 12.0	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 10.9	▲ 15.5	▲ 19.7
仕入単価 (前年同期比)	75.6	80.0	78.9	77.3	77.5	72.9	74.7	70.4	78.9	70.0
販売単価 (前年同期比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員 (今期の過不足)	▲ 44.6	▲ 28.3	▲ 34.7	▲ 41.8	▲ 47.2	▲ 31.4	▲ 40.3	▲ 46.4	▲ 44.3	-
新規設備投資した割合	27.0	15.5	20.8	30.3	23.9	12.7	33.3	16.4	16.7	19.4

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



卸売業

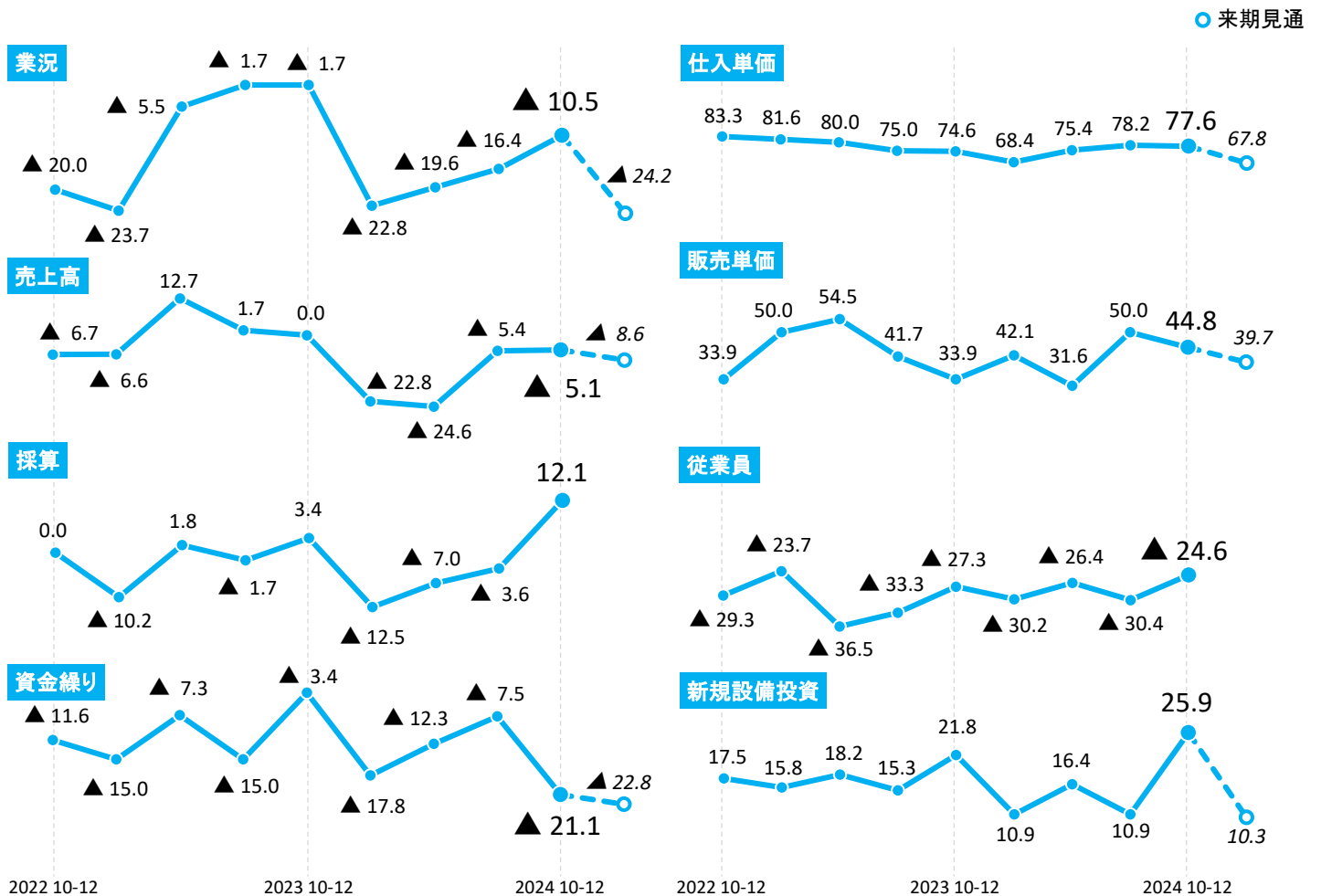
■主なコメント

- ・単価は多少低いが、受注を増加させる事ができており、期末には増益となる見込み。需要自体は低水準であるため、地方への営業により、売上増に努めている。（建築材料卸売業）
- ・地場の市場が飽和状態となる一方、他地域での展開は低単価の叩き合いとなっており、売上は減少。戸建・塗替の需要は減少しており、出荷ペースが鈍っている。（化学製品卸売業）
- ・事業規模としては小さいが、仕入先から一方的に価格を提示され、価格交渉には応じてもらえなかった。（食品卸売業）

■D・I

	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 20.0	▲ 23.7	▲ 5.5	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 22.8	▲ 19.6	▲ 16.4	▲ 10.5	▲ 24.2
売上高 (前年同期比)	▲ 6.7	▲ 6.6	12.7	1.7	0.0	▲ 22.8	▲ 24.6	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 8.6
採算 (今期の経常損益)	0.0	▲ 10.2	1.8	▲ 1.7	3.4	▲ 12.5	▲ 7.0	▲ 3.6	12.1	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 11.6	▲ 15.0	▲ 7.3	▲ 15.0	▲ 3.4	▲ 17.8	▲ 12.3	▲ 7.5	▲ 21.1	▲ 22.8
仕入単価 (前年同期比)	83.3	81.6	80.0	75.0	74.6	68.4	75.4	78.2	77.6	67.8
販売単価 (前年同期比)	33.9	50.0	54.5	41.7	33.9	42.1	31.6	50.0	44.8	39.7
従業員 (今期の過不足)	▲ 29.3	▲ 23.7	▲ 36.5	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 30.2	▲ 26.4	▲ 30.4	▲ 24.6	-
新規設備投資した割合	17.5	15.8	18.2	15.3	21.8	10.9	16.4	10.9	25.9	10.3

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



小売業

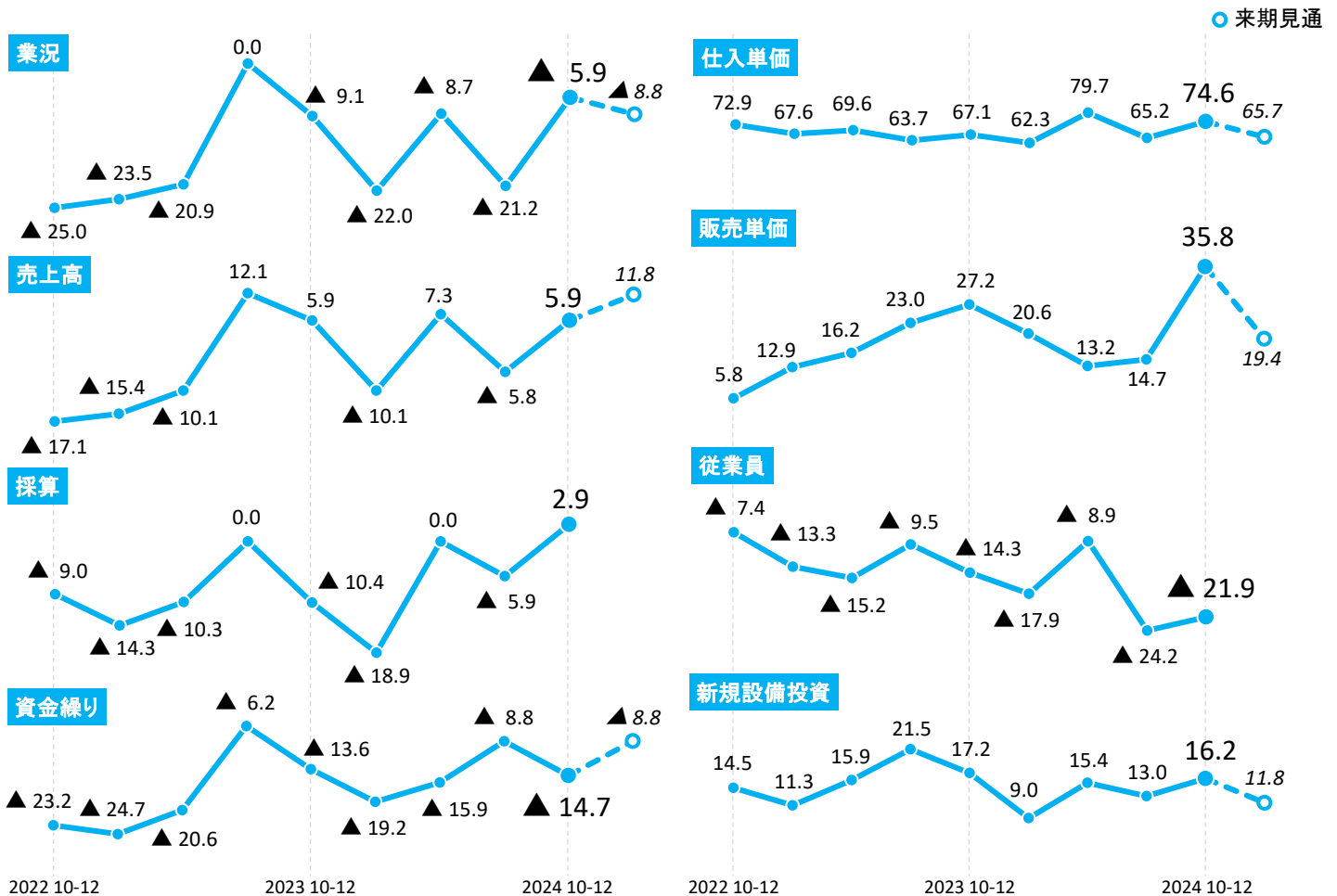
■主なコメント

- ・インバウンド向けの販売が好調なため、売上は増加。しかし人材が不足している。また、人件費に加え、運賃・備品・販促費など各種コストが増加しており、経常利益の改善には至っていない。(大型店)
- ・10～11月にかけて、スポットでの大きな受注があり、売上は好調だった。しかし、原材料や包装資材の値上げなど、コストが増加しており、利益は思うように上がらなかった。(菓子製造小売業)
- ・管内でメンズ衣料品の店舗が減っているため、売上が伸びている。これまでは品揃えのため在庫を増やしていたが、今後は資金繰りの事も考え、在庫を圧縮する方針。(織物・衣服・身の回り品小売業)

■D・I

	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 25.0	▲ 23.5	▲ 20.9	0.0	▲ 9.1	▲ 22.0	▲ 8.7	▲ 21.2	▲ 5.9	▲ 8.8
売上高 (前年同期比)	▲ 17.1	▲ 15.4	▲ 10.1	12.1	5.9	▲ 10.1	7.3	▲ 5.8	5.9	11.8
採算 (今期の経常損益)	▲ 9.0	▲ 14.3	▲ 10.3	0.0	▲ 10.4	▲ 18.9	0.0	▲ 5.9	2.9	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 23.2	▲ 24.7	▲ 20.6	▲ 6.2	▲ 13.6	▲ 19.2	▲ 15.9	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 8.8
仕入単価 (前年同期比)	72.9	67.6	69.6	63.7	67.1	62.3	79.7	65.2	74.6	65.7
販売単価 (前年同期比)	5.8	12.9	16.2	23.0	27.2	20.6	13.2	14.7	35.8	19.4
従業員 (今期の過不足)	▲ 7.4	▲ 13.3	▲ 15.2	▲ 9.5	▲ 14.3	▲ 17.9	▲ 8.9	▲ 24.2	▲ 21.9	-
新規設備投資した割合	14.5	11.3	15.9	21.5	17.2	9.0	15.4	13.0	16.2	11.8

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



サービス業

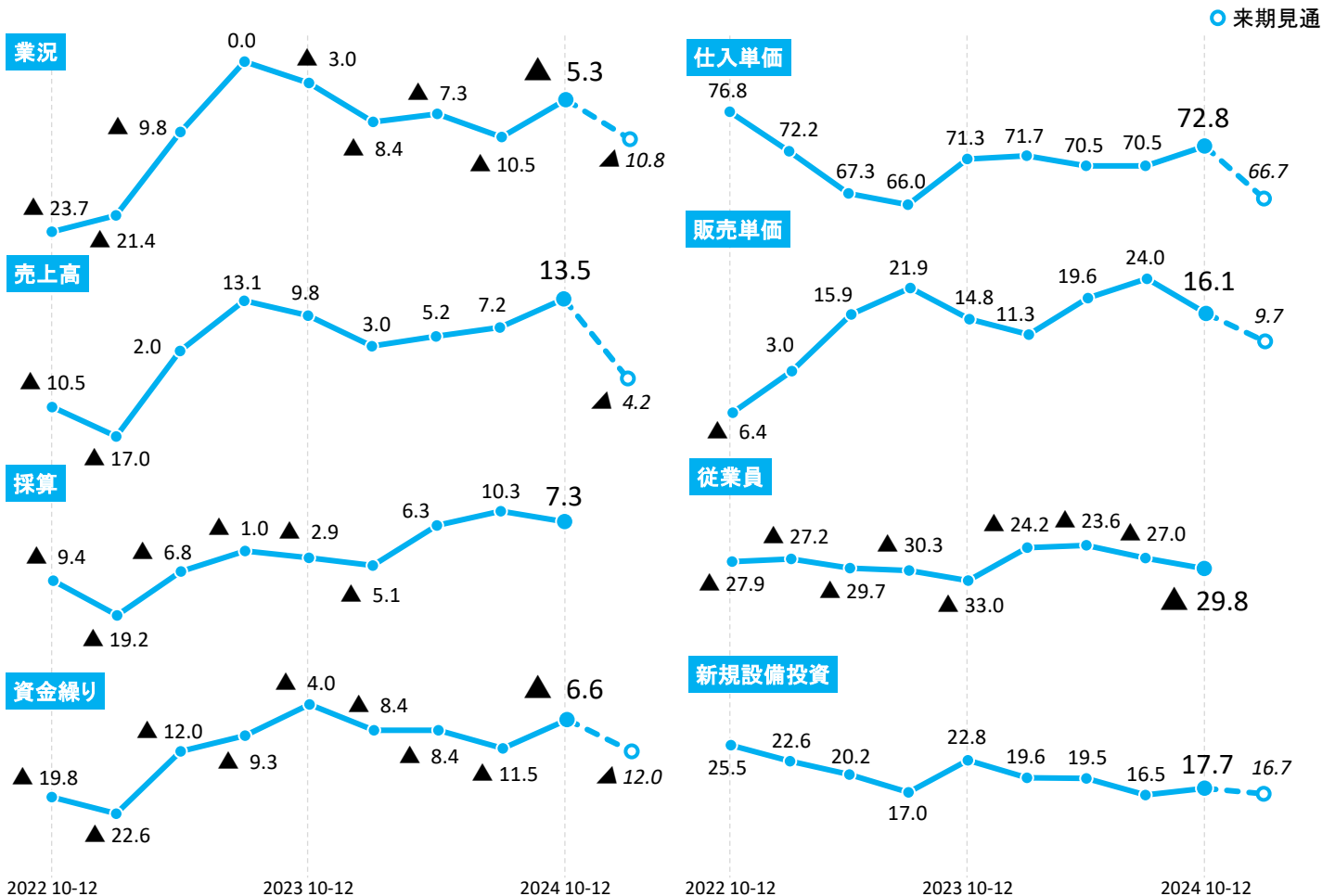
■主なコメント

- ・売上は増加しているものの、コストも増加しているため、収支改善には至っていない。まずは運転手確保に全力を注いでいく必要がある。
(一般乗合旅客自動車運送業)
- ・先月までは非常に苦しかったが、12月に入り順調に宴会予約が増えひと安心。食材は全て高騰しており、値上げも考えたが、これ以上値上げしては客離れが起きるのでとは心配で価格転嫁できていない。
(飲食業)
- ・インバウンド等で若干の好調ではあるが、世界情勢次第でいつ激変するか見通せず。仕入れ単価の上昇もあるため先行きは見通せず。
(ホテル・旅館業)

■D・I

	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 23.7	▲ 21.4	▲ 9.8	0.0	▲ 3.0	▲ 8.4	▲ 7.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 10.8
売上高 (前年同期比)	▲ 10.5	▲ 17.0	2.0	13.1	9.8	3.0	5.2	7.2	13.5	▲ 4.2
採算 (今期の経常損益)	▲ 9.4	▲ 19.2	▲ 6.8	▲ 1.0	▲ 2.9	▲ 5.1	6.3	10.3	7.3	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 19.8	▲ 22.6	▲ 12.0	▲ 9.3	▲ 4.0	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 11.5	▲ 6.6	▲ 12.0
仕入単価 (前年同期比)	76.8	72.2	67.3	66.0	71.3	71.7	70.5	70.5	72.8	66.7
販売単価 (前年同期比)	▲ 6.4	3.0	15.9	21.9	14.8	11.3	19.6	24.0	16.1	9.7
従業員 (今期の過不足)	▲ 27.9	▲ 27.2	▲ 29.7	▲ 30.3	▲ 33.0	▲ 24.2	▲ 23.6	▲ 27.0	▲ 29.8	-
新規設備投資した割合	25.5	22.6	20.2	17.0	22.8	19.6	19.5	16.5	17.7	16.7

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



VIII. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2024年12月
(2) 調査対象期間 2024年10～12月期実績及び2025年1～3月期見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。

来期は新;

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	43	55	37	58	71	264
中規模	14	17	21	10	25	87
合計	57	72	58	68	96	351
構成比	16.2%	20.5%	16.5%	19.4%	27.4%	100.0%

〈業界動向調査〉

ヒアリング先

製造業 40社、建設業 34社、卸売業 23社、
小売業 29社、サービス業 44社 合計 170社

■過去の調査結果はコチラ



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/demand/research/>

D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。